

鴻巣市長様
鴻巣市教育委員会
鴻巣市立小・中学校適正配置等審議会 御中

「小中学校の適正規模と適正配置」に関する意見書

2022年6月12日
大芦小学校 PTA 執行部
PTA 会長 富田昇

記

表題の件、現状進められている「大芦小・小谷小」を「吹上小」に統廃合する計画について、以下の理由により反対を表明します。

- ① 本計画について、関係する児童や保護者並びに地域住民に対して十分な説明も意見徴収もなく進められている現状に異議があります。説明や意見徴収も不十分なままで審議を早期に強行するのではなく、利害関係者に対する適正な説明会の実施と意見徴収をもとにした審議を要望します。
- ② 現状の計画の元とされる「鴻巣市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本的な考え方」に関してはコロナ禍以前の平成27年に策定されたものであり、コロナ禍が発生した現状にそのまま適用することが適切であるとは思えません、実際に大芦小が吹上小に統合されることによって今よりも感染リスクが高まることを懸念している保護者もいます。将来的な適正規模による再編は理解できる部分もありますが、現状ではコロナ禍も織り込んだ計画の見直しが必要ではないかと考えます。
- ③ 「R6年～R9年」と期限を設定していますが、計画検討期間なのか統廃合実施期間なのか分かりにくい。統廃合実施期間ということであれば、コロナ禍も収まらない状況で強引に進めることによって、将来的なデメリットや問題も発生しうると考えられますので慎重な審議を要望します。
- ④ 統合された笠原小の跡地が放置されている現状をみるに、統廃合後の施設利用計画が明確になってから統廃合すべきだと考えます。そういった計画が未定のまま統廃合を優先する緊急性も必要性もないと思います。

以上の点から、審議会で結論を出す前に大芦小学校区の児童と保護者並びに地域住民に対する説明会の実施と意見徴収を切に要望致します。

ご検討よろしくお願い致します。

以上